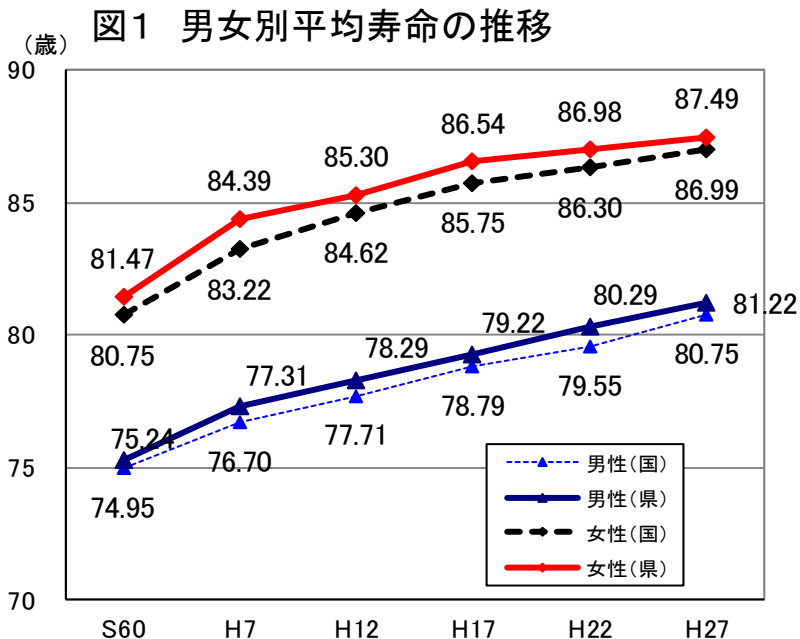


## 1 平均寿命と健康寿命



**健康寿命について**  
 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。  
 平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味し、この差が拡大すれば、生活の質の低下につながるだけでなく、医療費や介護給付費の多くを消費する期間が増大する。この差を縮小させるためには、疾病予防、健康増進、介護予防などの取組みが重要

平均寿命及び健康寿命は、男女ともに全国平均を上回っている。

出典: 厚生労働省「平成27都道府県別生命表」  
 厚生労働省「平成27年完全生命表」

表1.「日常生活に制限のない期間の平均」の2010・2013・2016年の全国と都道府県の推定値

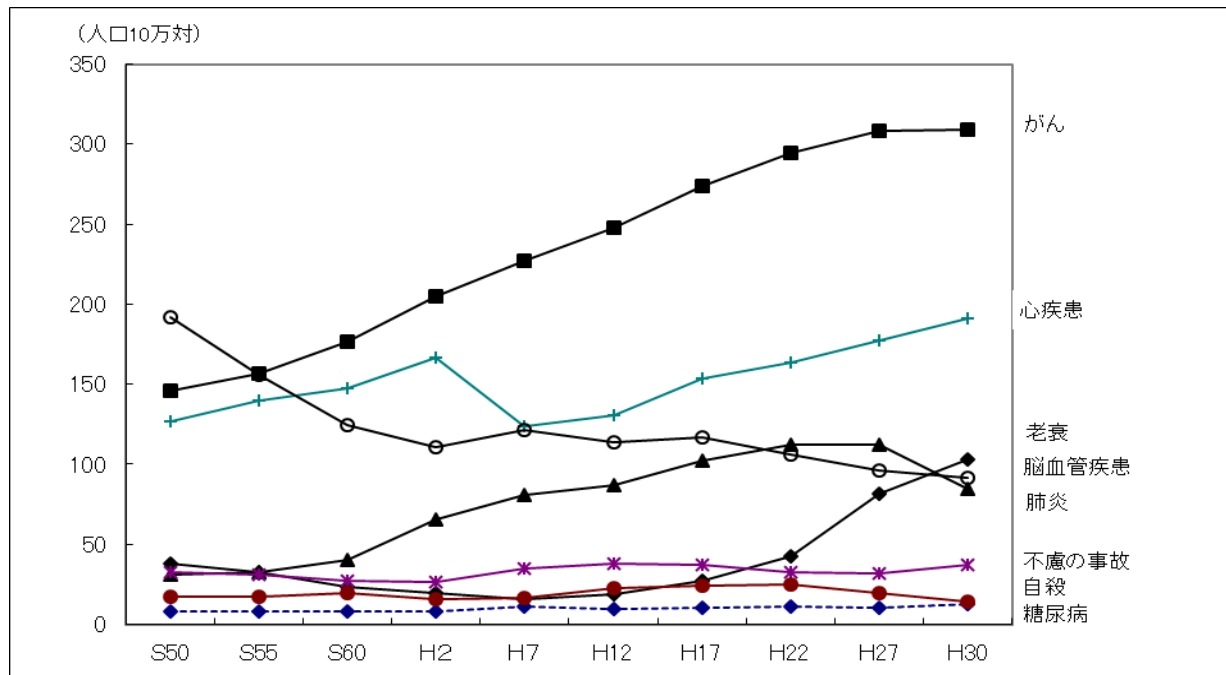
全国・都道府県	日常生活に制限のない期間の平均 (年)							
	男性				女性			
	2010年	2013年	2016年	2010, 2013, 2016の平均値	2010年	2013年	2016年	2010, 2013, 2016の平均値
全国	70.42	71.19	72.14	71.25	73.62	74.21	74.79	74.21
熊本	70.58	71.75		71.68	73.84	74.40		74.41
全国1位	71.74	72.52	73.21	72.31	75.32	75.78	76.32	75.49
	愛知県	山梨県	山梨県	山梨県	静岡県	山梨県	愛知県	山梨県

出典: 厚生労働科学研究費補助金「健康寿命の指標化に関する研究」

※2010,2013,2016年の平均のために算出した熊本県の2016年の推定値＝(熊本県の2013年の推定値)×(全国の2016年の推定値)/(全国の2013年の推定値)

## 2 死亡の状況

図2 死因別死亡率(人口10万対)の年次推移

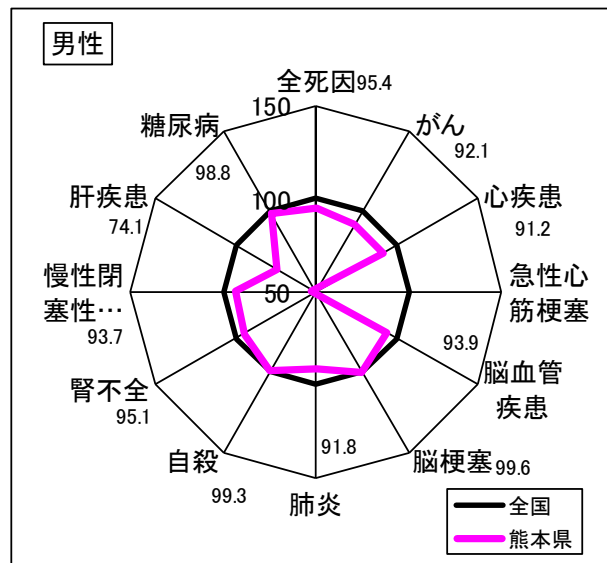


本県の死因別死亡率は、昭和55年以降は悪性新生物(がん)が死亡の第1位で、近年、心疾患が増加。

出典:厚生労働省「人口動態調査」

図3 主要な死因別年齢調整死亡率の全国比(平成29年)

※全国平均を100として比較



出典:熊本県健康福祉政策課「選択死因分類別の年齢調整死亡率」

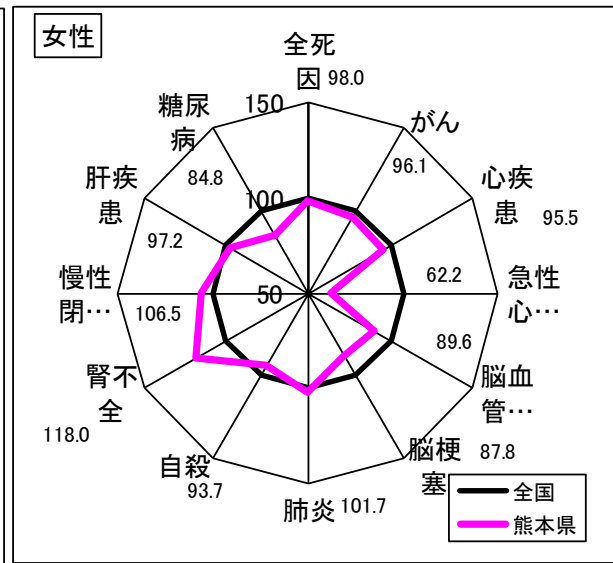
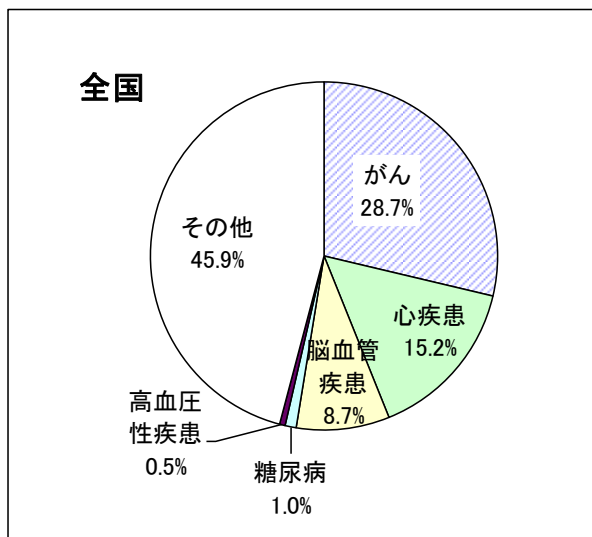
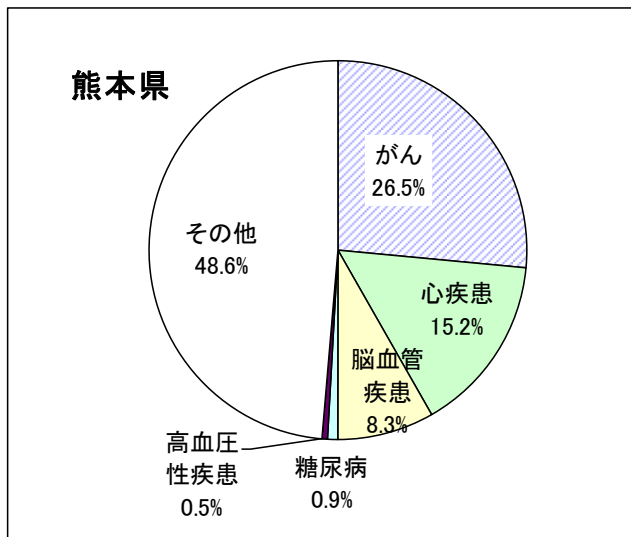


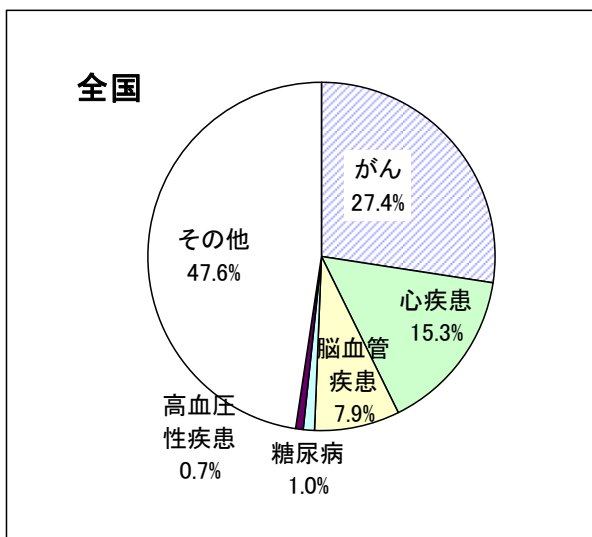
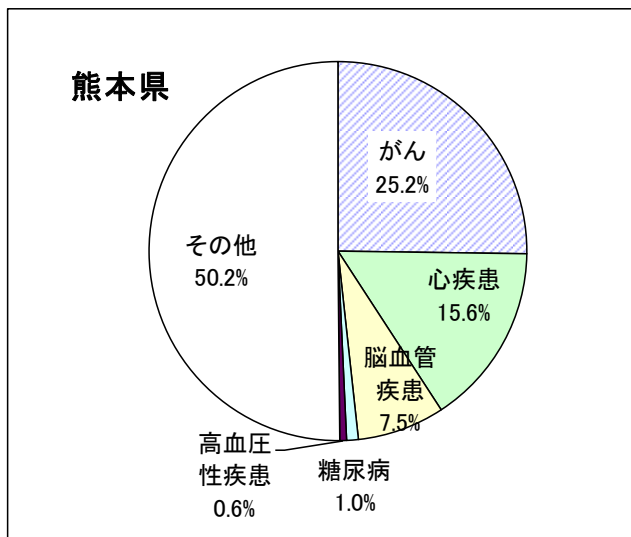
図4 生活習慣病に起因する死亡割合

H27年



生活習慣病に起因する死亡割合について、H29年は49.8%（県）とH27年と比較すると1.6ポイント減少している。

H29年



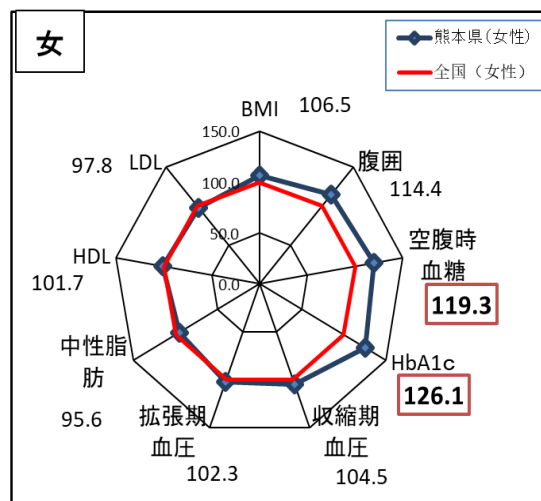
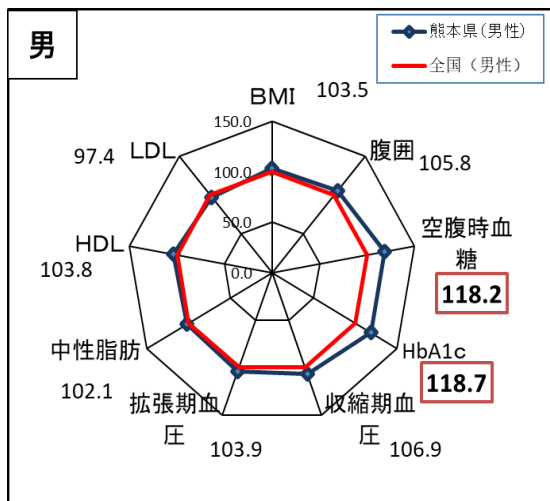
出典：厚生労働省「人口動態調査」

### 3 特定健診結果からみる生活習慣病に関する状況

図5 平成28年特定健診結果(全国平均を100として比較)

#### ①全項目

H28年

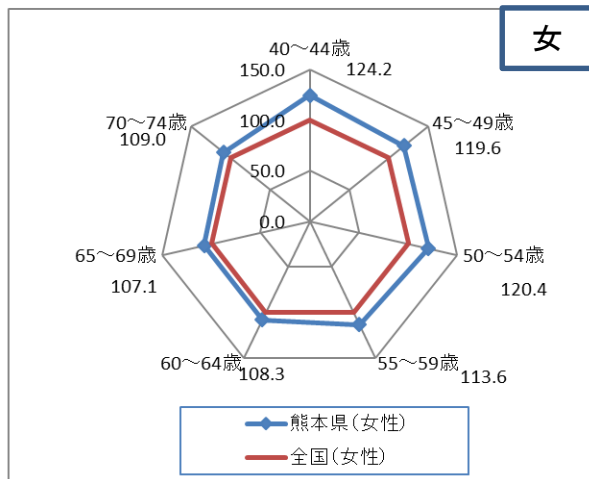
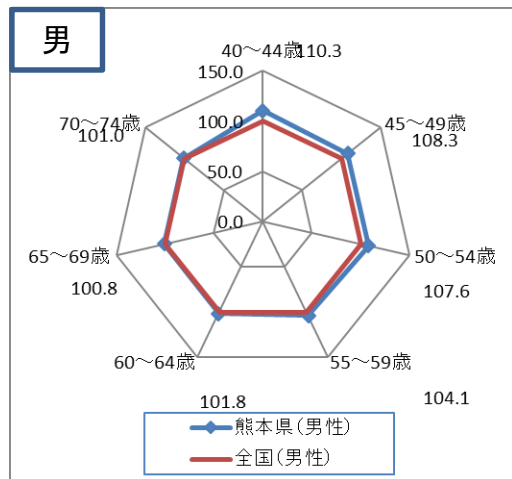


特定健診の各検査項目の結果が、保健指導判定値及び受診勧奨判定値以上の者(以下の判定基準)の割合について、全国平均を100として比較した

BMI: 25以上  
 腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上  
 空腹時血糖: 100mg/dL以上  
 HbA1c: **5.6%以上 (NGSP)**  
 収縮期血圧: 130mmHg以上  
 拡張期血圧: 85mmHg以上  
 中性脂肪: 150mg/dL以上  
 HDLコレステロール: 40mg/dL未満  
 LDLコレステロール: 120mg/dL以上

男女とも「空腹時血糖」「HbA1c」は改善しているものの、全国平均を大きく上回っている。

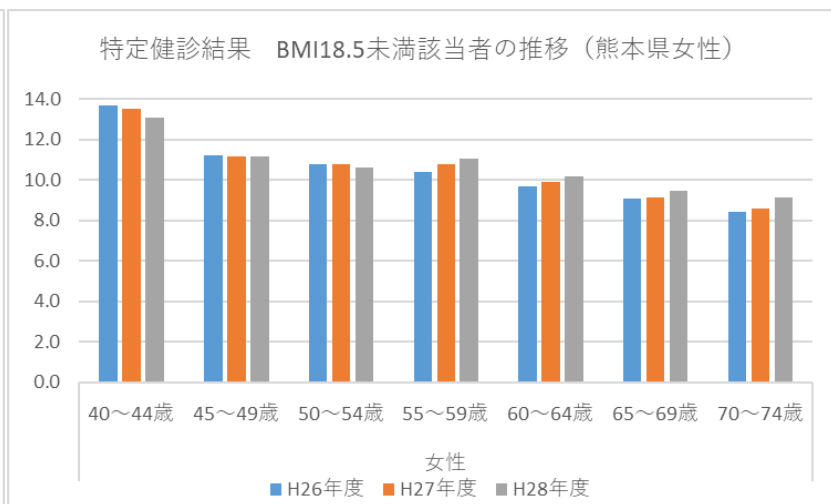
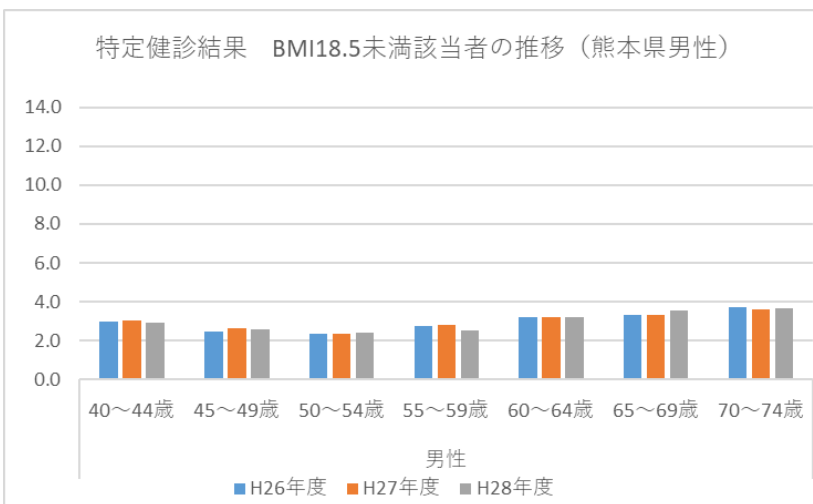
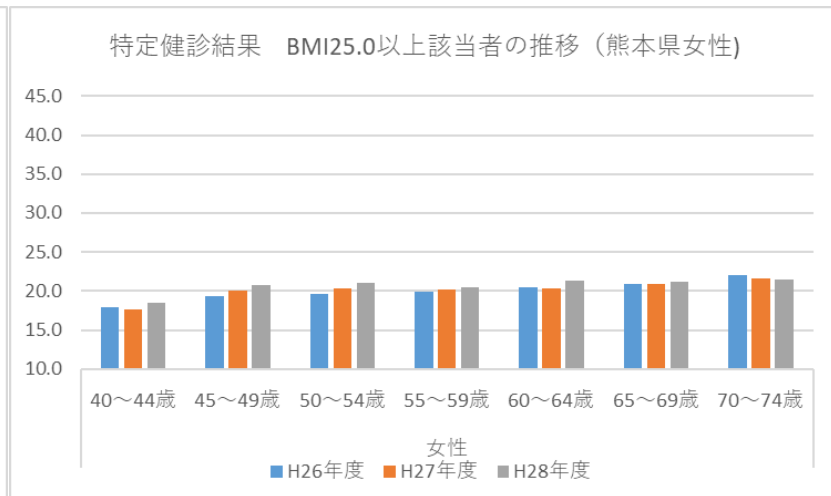
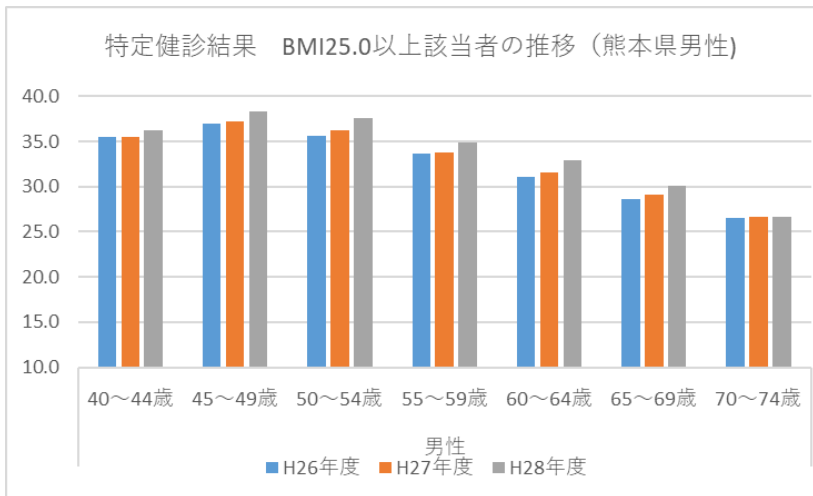
#### ②腹囲



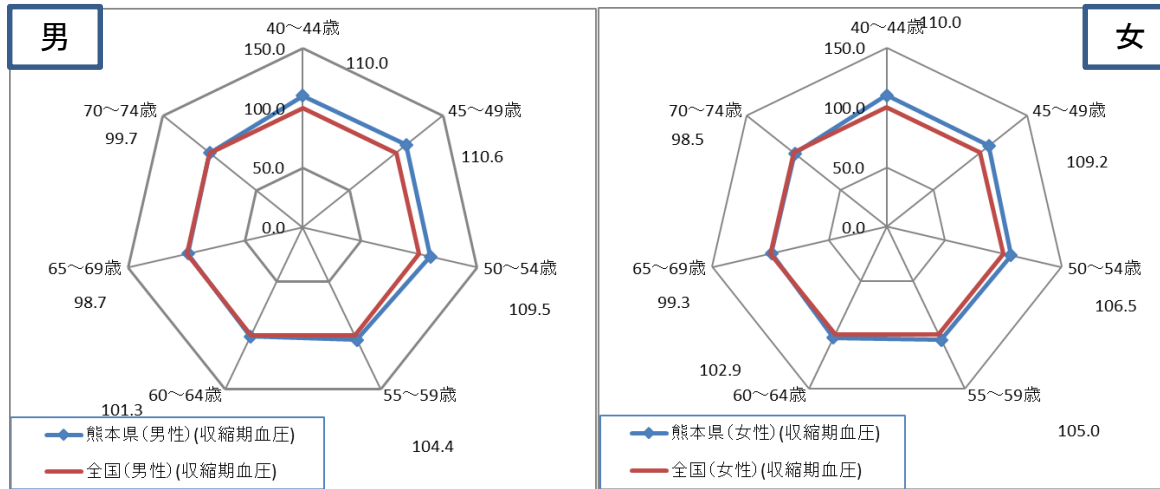
女性の「腹囲」は40歳代から60歳代前半までは、値の高い人の割合が、全国よりも高い。

### ③BMI

男性の40歳代～60歳代は、BMI25.0以上の人の割合が年々高くなっている。

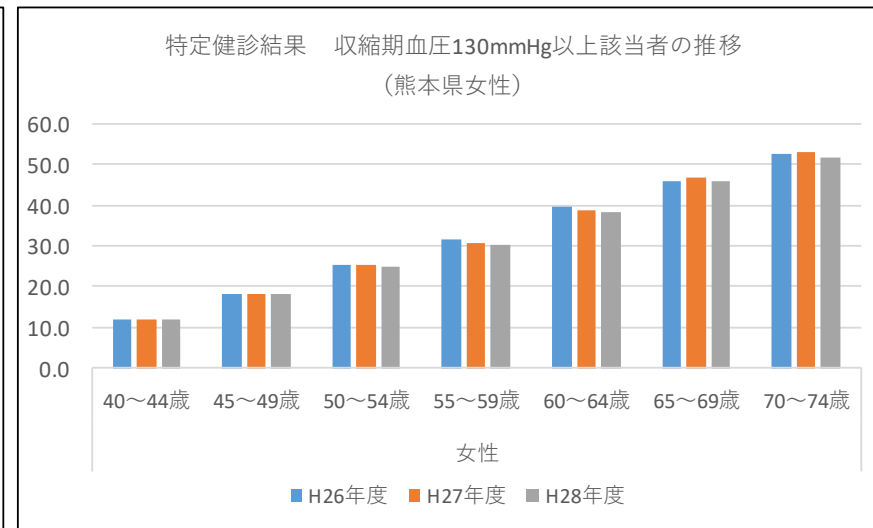
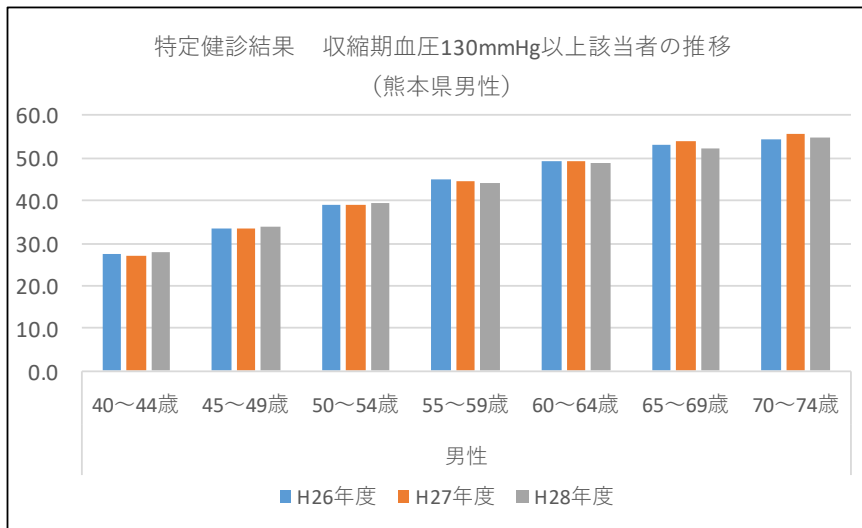


## ④ 血圧



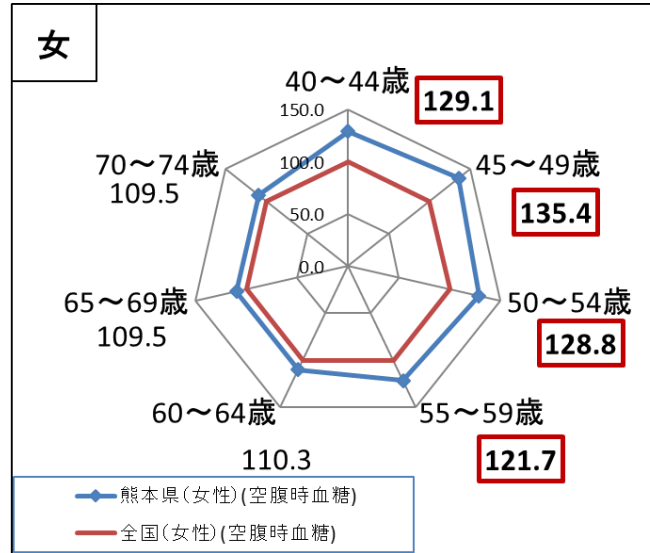
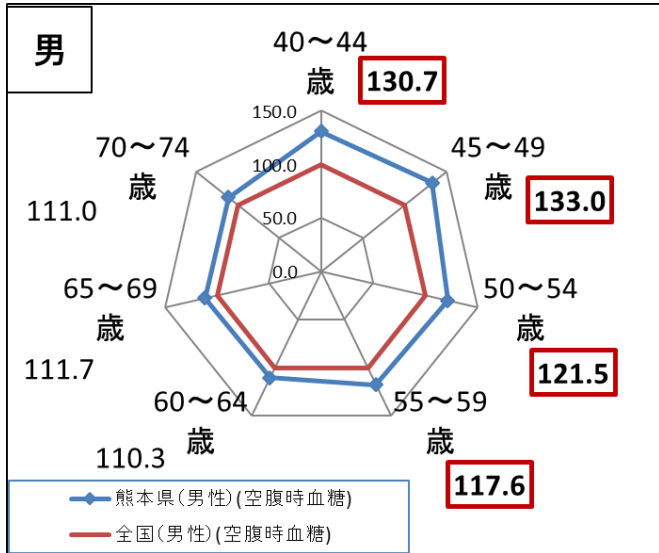
H28年

男女ともに40歳代、50歳代の「収縮期血圧」の値が高い人の割合が、全国よりも高い。

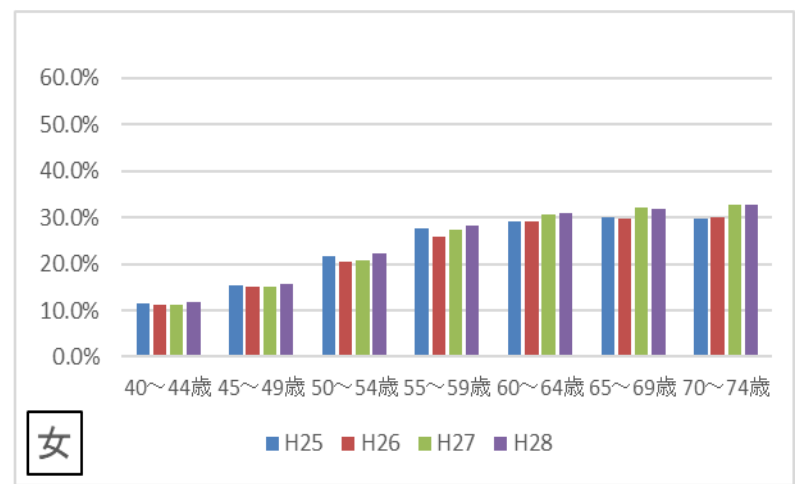
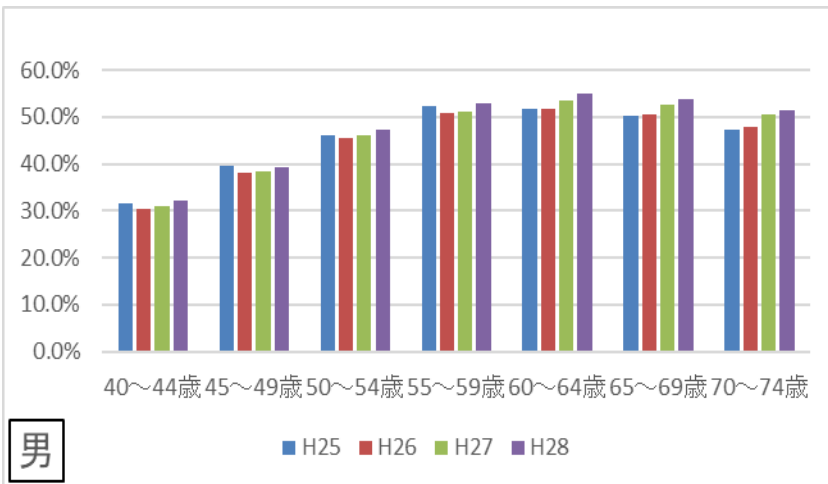


## ⑤空腹時血糖

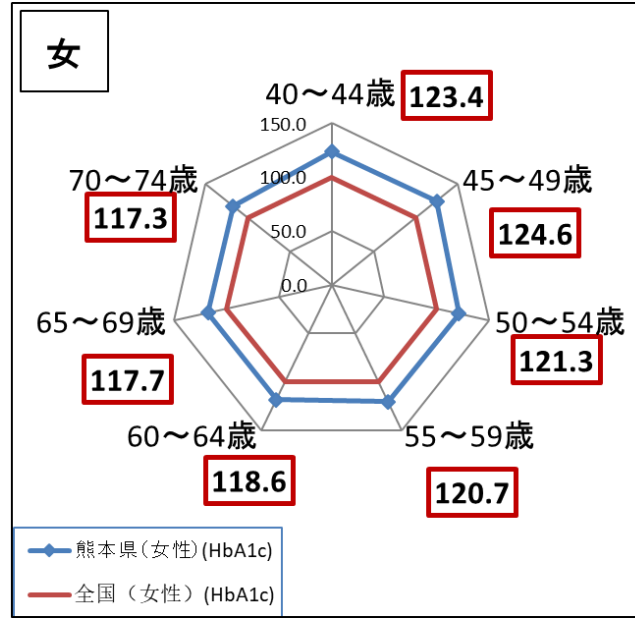
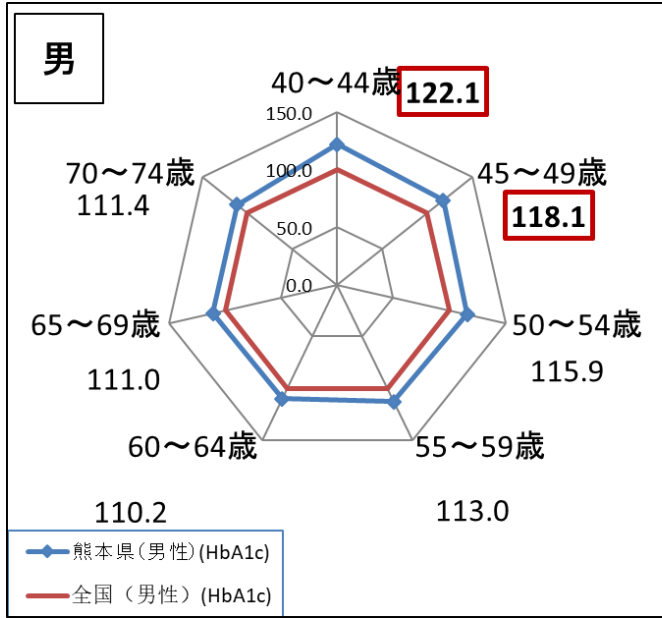
H28年



全年齢の男女ともに空腹時血糖が全国よりも高く、年々増加している。



# ⑥HbA1c



H28年

HbA1c・・・過去1~2か月の血糖値の状態がわかる値

全年齢の男女ともにHbA1cが全国よりも高く、全年齢で年々増加している。

